

あなたの ギカイだより

No.150



CONTENTS 12月定例会

- P 2 … ひと☆人 人とのコミュニケーション力が大切
- P 3 … 皆さんに聴きました
- P 4 … **150号発行 特別企画 ふるさと祭りで聴きました**
- P 6 … 議会でこんなことを決めました
- P 8 … 一般質問で町政を聞きました



ひと☆人 人のコミュニケーション力が大切

吉岡町第三保育園 主任保育士
かあいえみこ
河合 恵美子さん



インタビューの秋山議員と

Q 河合さんが保育関係のお仕事に進まれたきっかけについて、教えていただけますか。

A 嫁ぎ先が保育園経営をしていたので、結婚してから資格を取得し、保育士として働いてきました。結婚前は中学校で体育の教員をしておりましたので、引き続き教育関係に携われて良かったと思っています。幼い子どもたちに教えるのは初めてでしたので、最初は戸惑いやちょっとした壁もありましたが、家族や仲間に支えられながら、何とか乗り越えられました。



発表会で元気に声がけする河合さん

Q とても精力的に活動されている人だとお見受けしておりますが、そのモチベーションを維持するために心がけていることは何ですか。

A 保育士は子どもたちの一日の大半に関わりますので、昼間の保護者として、子どもたちに必要な教育は何かを常に考え、そのことを楽しく取り入れるようにしています。少しだけ遊び心を加えた内容にしてあげると、声は大きくなりますし、動きも素早くなりますし、子どもたちは本当に素直で正直です。

Q 専門知識やコミュニケーション力など、保育士さんには多くの能力が必要だと感じていま

すが、河合さんはどんな部分を大切にしているのでしょうか。

A 専門知識はもちろんですが、一番大切にし心掛けていることは、人とのコミュニケーション力だと考えています。子どもたちに対しても、保護者の皆さんに対しても、もちろん職員（仲間）に対しても同じです。相手の話を最後まで聞き、包み隠すことなく正直に向き合い、結果として一緒に笑い合うことができれば、お互いの気持ちが伝わった証拠だと思っています。時には目に涙を浮かべてしまうこともありますが、その次には良い結果につながると信じています。

Q 子育て世代が多く、子どもの数も多い吉岡町ですが、今後の課題として感じていることや、町への要望などはありますか。

A 子どもたちが喜ぶ遊具、楽しめる遊具をたくさん備えている公園が町内にあればと常々感じていますし、吉岡町にはそんな公園が必要だと思います。



つきたてのお餅でお昼ごはん

皆さんに聴きました

私たちが聴きました

議会広報常任委員が、町の課題について、関係する住民の皆さんにインタビューして、意見や思いを聴きます。今回は「安全安心な保育のために」をテーマに、町内の保育士さん・保育教諭さんにお聴きしました。



あきやま
秋山
光浩 議員



ふじた
藤多 ゆかり 議員



感染症対策として、病児保育室を配置、将来的には、看護師雇用も必要と考えます

安定的保育環境実現のために、町の財政状況も分りますが、補助金などの継続をお願いします



園周辺に明るい街灯と防犯カメラの整備、道路に徐行啓発の看板をお願いしたいです

子どもたちはもちろん、職員を守るためにも園内に監視カメラを設置し、事実確認ができる環境づくりが必要です



保育業界の働き方改革や業務改善は難しく、ともすれば誤解を招きかねませんので、この部分の理解をお願いします



小学校や他園などとの交流は、子どもの育ちと将来に大きく影響を与えると考えます

もう少し職員数が多ければ、気持ちにゆとりを持った子ども対応に繋がります

150号発行 特別企画

ふるさと祭りで聴きました

10月12日に開催されたよしおかふるさと祭りで、議会広報に関するアンケートを実施しました。会場入り口近くに設置した専用ブースでは、午前中だけで用意したアンケート用紙が終了してしまうほどの盛況ぶりでした。町民の皆さんに改めて御礼申し上げます。ご協力ありがとうございました。

議会広報を通して町政や議員活動をお知らせしてきましたが、改めて町民の皆さんの関心事が何かを知るきっかけとなりました。

「回答者の性別比率・年代」では、女性から、また子育て世代や高齢者から多くの回答をいただきました。この比率と、「議会で重点を置いて取り組んでほしいことは」で医療・福祉や子育て・教育が上位といった結果には関連性がみられます。また「1番興味がある記事は」と「どの程度読みますか」の回答では、日頃から議会だよりも町の施策にも関心を持っている人が多いという結果が出ました。

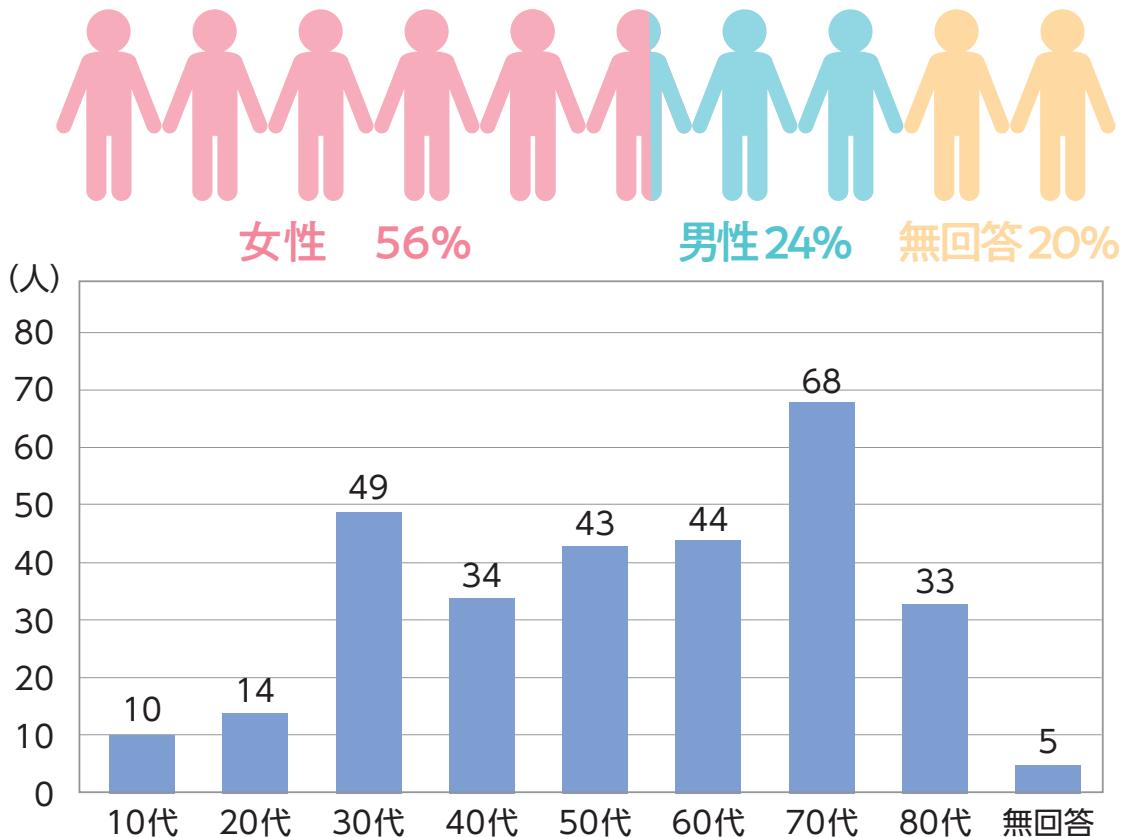
300人からいただいた貴重なご意見を活かし、今まであまりお手に取ってもらえなかった人も読みたくなるような広報誌「あなたのギカイだより」となるよう、広報委員一同、今後の編集作業に努めてまいります。



ふるさと祭りで議会広報初のアンケート実施



回答者の性別比率・年代





議会で重点を置いて取り組んで欲しいことは



医療・福祉全般

子育て・教育

防災・生活環境全般

4位 インフラ整備

5位 農業・商工業

6位 スポーツ活動全般

7位 文化・芸能全般

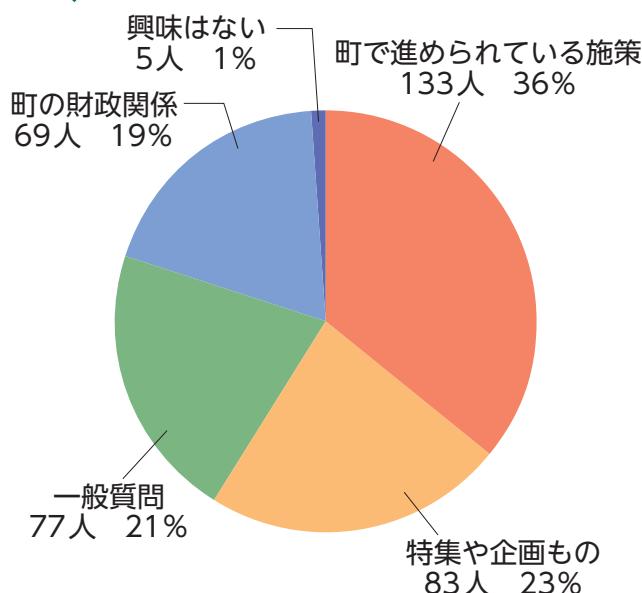
8位 男女共同参画

9位 その他



1番興味がある記事は

(複数回答含む)



回答を集計してシールで表示



どの程度読みますか

興味がある部分だけ読む
97人 33%

ほぼ全部読む
91人 30%

ほとんど読まない
21人 7%

たまに読む
66人 22%

全く読まない
13人 4%

わからない
12人 4%

令和7年第4回定例会 議会でこんなことを決めました

令和7年第4回定例会が開会されました。会期は12月1日から11日までの11日間でした。議案17件が提案され、いずれも賛成多数で可決しました。また、陳情1件を採択としました。

子ども誰でも通園制度が始まります

4月1日から開始する乳児等通園支援事業（子ども誰でも通園制度）について、運営や設備に関する基準の条例を定めました。

子ども誰でも通園制度は全ての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、保護者の多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するため創設されました。

マイナンバーカードで 福祉医療費受給資格を 確認できます

令和8年4月から、マイナンバーカードを用いて、^{※1}PMH 対応の医療機関などの窓口で福祉医療費受給資格を確認できるようになります。

今まででは、福祉医療費を受給する場合は、医療機関などの窓口で、紙の受給資格者証の提示が必須でした。マイナンバーカードをお持ちの人は、保険資格の確認と同じように福祉医療費受給資格を確認できるようになります。

その仕組みを整備するために、条例を整備しました。

※紙の受給資格者

証も従来通り
使用できます。



マイナンバーカードで資格確認ができるようになります。

^{※1} PMH (Public Medical Hub) 対応
マイナンバーカード（マイナ保険証）を読み取るカードリーダーなどの体制を整えていること。

補正予算を可決しました

およそ1億4900万円の令和7年度一般会計補正予算第4号を、審査の結果賛成多数で可決しました。主な内容は概算で、^{※2}シェアサイクル事業420万円を含む総務費1300万円、障害児通所支援などの民生費1億600万円、産業団地関連1900万円を含む土木費2400万円、小学校補修工事費350万円を含む教育費700万円などです。

反対討論しました



こいけ はるお
小池 春雄 議員

本補正予算内にあるシェアサイクル関連の件ですが、新たな事業としてスタートするのに、議員に対して事前の説明がありませんでした。本来であれば、新規事業については議会に事前説明をして、議員から意見を聞いて方向を見出していくべきです。よって私は、本補正予算に反対します。

※2 シェアサイクル事業とは

一定の区域に自転車の貸出・返却ができる拠点（ポート）を多数設置し、どのポートでも借りたり返したりできることで、回遊性が高まり、地域活性化が期待できる事業です。吉岡町は前橋市が運営しているシェアサイクル事業「cogbe (コグベ)」に参入予定です。

第4回定例会 賛否一覧



陳情第1号 吉岡町立図書館における学習環境整備に関する陳情書 陳情を採択としました

令和7年12月8日に文教厚生常任委員会が開催され、議長より付託された陳情の審査について、賛成多数で採択としました。

	件名・陳情項目	委員会結果	本会議結果
陳情 第1号	吉岡町立図書館におけるWi-Fi利用環境および自習室整備に関する陳情 陳情項目 ・図書館での無料Wi-Fi利用環境の整備 ・臨時の自習スペース設置(長期休暇中の臨時開放)	採択 (賛成多数)	採択 (賛成多数)

陳情の理由・経緯など（要約）

吉岡町在住の高校生です。タブレットやPCでインターネットを利用した学習機会が増えています。日頃図書館で自習していますが無料Wi-Fi環境がなく不便です。県内では、市立図書館、県立図書館などで無料Wi-Fiが整備されているところもあります。予算面での課題もあるでしょうが、町の学習環境・教育水準向上のため、図書館に無料Wi-Fiを導入してください。

また、長期休暇中は図書館の学習机や自習室がほぼ満席です。館内の未使用のスペースを臨時に開放すれば、低コストで学習環境の改善ができます。

吉岡町の未来を担う子どもたちの学習環境整備のため、上記の項目について前向きな検討をお願いします。



無料Wi-Fi導入で学習環境の向上を（吉岡町立図書館）

ここが知りたい ギカイのイロイロ

請願と陳情

町政について要望や意見などがある場合、町議会に対して請願書や陳情書を提出することができる制度。議員の紹介があるものを「請願」、ないものを「陳情」と区別しています。

請願・陳情の進め方

請願・陳情の提出（請願は議員の紹介が必要）

【本会議】議会への上程 委員会付託

【委員会】委員会での審査

【本会議】審査結果の報告 討論・表決

請願・陳情者への通知 意見書などの送付

議員の知見と活動の集約

一般質問で町政を聞きました

一般質問は、町政全般にわたって、議員個人が執行機関に質問し見解を求めるものです。議員の知見と活動の集約であり、議会活動の「花形」とも言われています。



◀本会議の様子を
生中継・録画でも配信



■藤多 ゆかり 議員 9ページ

1. DV相談窓口の現状は

■畠岡 栄一 議員 9ページ

1. 産業団地に関する都市計画は

■小林 静弥 議員 10ページ

1. 地域のつながりを把握する取り組みは
2. スマホなど適正利用について町の考えは

■廣嶋 隆 議員 11ページ

1. 最終処分場建設中止に至る経緯は
2. プラごみ収集結果は

■大井 俊一 議員 12ページ

1. 今後の自治体間交流は
2. 吉岡町のPRは

■飯塚 憲治 議員 13ページ

1. 吉岡バイパス両側に開発可能な区域指定は
2. 定員超過の幼・保育園、定員増加策は
3. 部活動の地域移行の成果は

■飯島 衛 議員 14ページ

1. 物価高騰下での支援の考えは
2. 八幡山グラウンドの整備は

■小池 春雄 議員 15ページ

1. ふるさと納税増額は
2. 時代に即した子育て支援策は

■坂田 一広 議員 16ページ

1. 町の子どもを取り巻く環境は
2. 「こども家庭センター」の設置は

DV相談窓口の現状は



ふじた
藤多 ゆかり 議員



A 健康福祉課福祉室にて対応

Q ^{*1}DV相談窓口の現状は。

A 健康福祉課福祉室を相談窓口とし、被害者の状況に合わせ県女性相談支援センターなどへの紹介と連携を実施している。

Q 給食センター建設に向けての思いは。

A 安全安心でおいしい給食を安定的に継続して提供すること。

Q 学校体育館のエアコン設置計画の進捗は。

A 優先順位をつけ、来年度から具体的に動き出せるよう調査検討を進めているところ。

Q 発達障害児（者）の相談窓口の現状は。

A 健康福祉課内で連携して対応している。

Q 子どもたちの朝の居場所づくりについて、ニーズの確認は。

A 今のところ相談はない。

Q 災害用^{*2}ヘルプバンダナの準備は。

A 引き続き検討する。



そのとき、私たちにも
できることがある。

あなたのからだや気分を大切にし、必ず手を貸して話を聞かせてから、抱いてください。
そして、どんな時もあなたは必要でいます。おいでください。

年齢・性別を問わず相談できる窓口あこちに伝えてください。
#8891 #8103 #8008
11月12日～25日は女性に対する暴力をなくす運動期間です。

DV防止の啓発ポスター

^{*1}DV（ドメスティック・バイオレンス）
配偶者や恋人など親密な関係にある相手から受ける暴力のこと。

^{*2}ヘルプバンダナ
外見から分かりにくい障害や病気があり支援を必要とする人が、周囲に助けを求めるための啓発・支援グッズ。

産業団地に関する都市計画は



とみおか
富岡 栄一 議員

A 5種類の都市計画を予定している



Q 産業団地に関する都市計画は。

A 産業団地を整備するにあたり、5種類の都市計画を予定している。「用途地域（工業専用地域・第一種住居地域）・地区計画・特定用途制限地域・都市計画道路・都市計画公園」。中でも、工業専用地域では住宅などは建てられず、工場操業に特化した地域になる。

Q 公園予定地の稲作はどのようにになっているのか。

A 公園予定地は町が買収するため、令和10年以降の契約になり、令和8、9年の2年間は稲作ができる。

Q SNS型詐欺被害が令和7年10月末までに、吉岡町民6人が被害にあっているが、町としての対策はどのように考えているのか。

A 町の対策は、よしおかほっとメールや、町公式LINEを通じ詐欺被害防止の啓発や周知を行っている。渋川警察や、町の防犯委員会と連携しさらなる対策ができないか検討していく。



用途地域とは
建築物の用途、形態、建ぺい率、容積率等
について守るべきルールを定めた地域です。

工業専用地域では住宅などは建てられない

地域のつながりを把握する取り組みは



こばやし しづや
小林 静弥 議員

A 9自治会が支え愛マップ着手

Q 地域のつながりの実態を把握する取り組みは。

A よしおか支え愛マップづくりを通して、災害時避難行動要支援者を自治会ごとの地図に落とし込み、要支援者と自治会の支援者の見える化が行われていると考えている。今年度末までには、9つの自治会が着手。



よしおか支え愛マップは更新が大切
(3回目の更新をする小倉自治会)

Q 町内の小・中学校において熊出没を想定した安全教育や避難行動指導は。

A 現状、町内の学校では、熊の出没を想定した避難行動について、計画的な指導はしていないが、昨今の熊の出没状況に照らすと、万一、遭遇した場合の対応方法や予防のための効果的対策について、児童・生徒への指導、家庭への周知など検討する必要性を感じている。

Q 吉岡町道路損傷等通報システムについて、運用から、これまでの報告数や対応件数などは。

A 令和7年10月1日運用開始から2ヶ月間の報告件数の総数は46件。道路の舗装補修の要望や、草や木の繁茂による除草や伐採の依頼が多い。18件が対応済み。(11月末時点)

スマホなど適正利用について町の考えは

強制ではなく主体的な判断が重要

Q 愛知県豊明市のように、スマホなどの適正利用

について、町が一定の目安や方針を示す考え方、どのように捉えているか。

A 急速に進展するデジタル社会において重要なことは、外からの強制力によって子どもたちをコントロールすることではなく、子どもたち自身がメディアとの付き合い方を考え、主体的に判断する情報活用能力を育むことにあると考えている。



スマホなどの適正利用には主体的な判断が求められる

Q 生活困窮者の安全について。町内で住所不明の路上生活者に関する通報や相談の受付窓口を一本化または整理し、周知する考えは。

A 防犯に関しては総務課、施設の管理に関しては、各施設の管理担当課、生活困窮者の支援やホームレスに関しては、健康福祉課がケースによって対応している現状だが、今後、分野が明確でないケースについて、どのように対応していくか、各課で協議し検討していくたい。

Q カスタマーハラスメント対策に対する町の認識について、令和8年10月の義務化を見据え、対策の検討スケジュールをどう進めているか。

A 予定されているカスタマーハラスメント対策の義務化に向け、職員の人権を守り、職員が安心して働きやすい職場環境を構築するため、現在、対策マニュアルの策定作業を進めているところ。

最終処分場建設中止に至る経緯は



ひろしま たかし
廣嶋 隆 議員

A 多額の財政負担と用地測量の遅れ

Q 次期最終処分場建設中止に至る経緯は。

A 渋川広域組合では、清掃センターおよび環境クリーンセンターの老朽化により、更新時期を迎える今後これらの施設を更新し、維持管理していくために多額の財政負担が想定される。最終処分場建設事業は、令和6年度に実施していた用地測量の遅れにより、事業完了に1年以上の遅れが見込まれ、最終処分を一時的に民間委託せざるを得ない状況となり、渋川広域組合の管理者・副管理者会議で、最終処分の民間委託と次期最終処分場の建設中止が決定された。

Q 周辺住民や地権者への今後の対応は。

A 周辺住民や地権者からは、最終処分場を建設することで、周辺環境への影響や農畜産物の風評被害、また、地価の下落が心配との声もある。町は心配を根本的に払拭するためには、最終処分場を建設しないことが、地元に対する配慮につながるものと認識している。上野原地区は交通不便地域で、交通面の支援策など今後できることを検討していく。

Q 令和8年度から、沼田市内に民間処分場が供用開始となる。委託先として安心できる企業なのか。

A 民間処分場設置業者は、昭和63年から35年以上にわたり、5施設で一般廃棄物の最終

処分事業を行ってきた実績があり、建設中の施設は受け入れ先を地方公共団体に限定している。その他、沼田市、渋川広域組合および当該事業者による、三者間公害防止協定を締結し、共同管理体制がとられる予定。これから安心して委託できる企業と判断した。

プラごみ収集結果は

154トンで98.9%

Q 令和6年度のプラスチック類収集見込みと結果は。

A 町の収集見込み155.8トンに対し、実績は約154トンで達成率98.9%となった。渋川市の達成率は64.9%で榛東村は72.9%。

Q 今後のプラごみ対策は。

A 令和7年度からプラごみは、月2回の収集から週1回の収集にした。順調に推移しており、このまま続けていく。

Q 町は各種ごみ袋を、渋川広域組合で統一する考えはあるのか。

A 指定ごみ袋は原料価格の高騰により、渋川広域組合で統一して製造することで、単価が下げられると想定される。具体的な統一の時期は、令和9年4月1日を目標に、事務レベルで調整・協議を行っている。



建設中止が決定された最終処分場予定地



プラスチック類のごみ収集は順調

今後の自治体間交流は



おおい しゅんいち
大井 俊一 議員

A きっかけを生かしていきたい



Q 今後の自治体間交流は。

A 今回初めて大樹町の子どもたちを受け入れる。対応調整中であり町を挙げて歓迎したい。開成町は、ふるさと祭りに招待し、合わせて町の施設を見学していただいた。9月に教育長らが来庁時、情報と意見交換をした。トップセールスや議会研修などのきっかけを生かしていきたい。

Q 町民個人や団体などの交流につなげていく考えは。

A 交流を、行政課題の解決や町民サービスの向上につなげることも重要と考えている。

Q さまざまな面での信頼関係のつながりが、広い視野を持った子どもたちの成長につながるものでは。

A 人口や地域性を考えて検討していく。現地の人々との顔を合わせた交流と、吉岡町の魅力を肌で感じていただく交流に勝るものはない。町の将来を見据え、子どもたちの人材育成の観点で検討を進める。

Q 広い視野を持った子どもたちの成長に、吉岡町に不足しているものは。

A 大樹町との交流で、地域社会でリーダーシップを発揮できる青少年育成を目的にした研修を実施中。吉岡町の子どもたちの音楽・絵画などの文化交流、スポーツ交流などに、訪問してもらう。チャンスがあれば実現したい。

吉岡町のPRは

研究・検討してPRにつなげたい

Q 吉岡町のPRは。

A PRは観光振興や移住定住促進・産業団地事業推進において重要な取り組みと認識。今後はデジタル化の推進など、多角的・効果的なPR活動に努める。

Q 渋川市の「しぶかわ推し」のような、若い人に吉岡町の必要な情報が届けられないのか。

A 提案などを研究・検討して吉岡町のPRにつなげたい。



情報提供ラックの活用を
(駒寄 PA)

Q 吉岡町の熊問題の状況と対策は。

A 町民の安全安心を最優先に進めていく。渋川市八木原会館南側先、滝の沢川河川敷内、渋川市と吉岡町境界部に熊出没情報があり、利根川東側の前橋市などにおける連続出没との関連で、荒廃し森林化した利根川河川敷の管理の必要がある。利根川の河川管理者である県渋川土木事務所に協議・要望を考えていきたい。

Q 吉岡町の猟友会の状況は。

A 第1種免許5人。狩猟免許を持つ公務員(ガバメントハンター)、町職員の研修を含め今後検討したい。



熊の出没が懸念される荒廃し森林化した利根川河川敷

吉岡バイパス両側に開発可能な区域指定は



いいづか けんじ
飯塚 憲治 議員



A 慎重になるべきと考える

- Q 吉岡バイパス大松交差点から仮称杉下交差点手前までは宅地・商工業施設・農地が点在しているが、道路両側の一定の幅を持った区域は、商工業に適した土地である。一定幅の区域を商工業での利用可能地域に指定するべき。
- A 今以上の商工業の拡大は、持続可能なメリハリのあるまちづくりになじまないため、慎重になるべきと考える。



吉岡バイパス沿線の状況
(大松交差点付近・バイパス東側)

- Q 町道駒小・半田線から関越自動車道までは開発の候補地との事だが、高速道路から西側の農地はどのように考えているのか。
- A 商工業での利用地域にはしない方針。

定員超過の幼・保育園、定員増加策は 令和8・9年と定員増加を計画中

- Q 幼稚園・保育園の園児数は定員超過の実態。拡充はどのように考えるのか。
- A 第一保育園増築中および第四保育園は令和8年度増築工事完成予定。令和9年度は、新たな小規模保育所が開所予定など定員増加に努めている。
- Q 児童の放課後の居場所づくりに関しては、学童クラブ・自治会の放課後見守り・夏休みの保護

者会など、いろいろな体制があるのは本来の形ではないと思う。入所条件の壁を設けての、待機児童なしなどと言わずに、学童保育入所条件の緩和・撤廃を実施すべきでは。

- A 入所希望の高まりを受け、計画的に定員増加の手はずを実行してきた、それでも現入所条件において定員に達しており、入所条件の緩和は困難な状況。



増築中の吉岡町第一保育園

部活動の地域移行の成果は 地域移行の指導体制の構築が完了

- Q 吉岡中部活動地域移行は3年計画の最終年度となった。吉岡町部活動地域移行検討委員会としての成果と将来見通しはどうか。
- A 吉岡中すべての部活動において、地域移行の指導体制が整った。教職員の時間外労働時間は取り組み前の令和4年9月に比べ、令和7年9月は1人当たり1ヶ月平均17時間以上が短縮された。今後は保護者の費用負担の具体策を検討。
- Q 教員への兼職兼業の制度を活用した指導者体制の検討は。
- A 教員が休日に地域クラブの指導者として報酬を得て活動できる兼職兼業制度を推進し、教員のやりがいと働き方改革の両立を目指す。

物価高騰下での支援の考えは



いいじま
まもる
飯島 衛 議員



A 制度設計に取り組んで進めたい

Q 物価高騰が続いている、重点支援地方交付金を活用し、町民に対して商品券の発行や東京都がこの夏実施した水道基本料金の無償化など生活支援の考えは。

A 効果的な支援策を選択したい。また、町民生活を守るために、具体的な支援策は、関係課で検討し、制度設計や財政調整に取り組んで進めていきたい。

Q 小・中学生のSNSの利用によるオンラインカジノなどの犯罪がニュースになり、県内の児童・生徒の暴力が過去20年間で最多との報道があったが、これらはSNSの発達が影響しているのではと言われている。町としての認識と対策について、どのように考えているのか。

A 考慮すべき課題であると認識している。単に子どもたちをデジタル機器から遠ざけて一律に利用を制限するだけでは、根本的な解決にはならないと考えている。効果的に利活用しながら危険性もしっかりと理解させること、正しく使いこなす力を養うことが、小・中学校段階では重要であると認識している。



SNSの利用をみんなで考えたい

Q 愛知県豊明市がスマートフォンなどの適正使用の推進に関する条例を制定したが、保護者に向けた対策も必要と思うが。

A スマートフォンやゲーム機を持たせる際に、保護者と子どもがしっかり話し合うことや、ルールの重要性を確認するとともに、大人が把握しきれないネット上のリスクについて、学校と保護者が危機意識を共有し、密に連携していくことが不可欠と考える。

Q 天神東公園の整備などに民間資本の誘致は考えないのであるか。

A 国の補助金を活用し整備する予定で、公園内の飲食物販売は、民間資本の活用なども検討したい。

八幡山グラウンドの整備は 再度関係団体に確認したい

Q 八幡山グラウンドの整備についてどのように考えているのか。

A グラウンド整備の今後は、利用者ニーズに変化もあり、再度関係団体、有識者などの考え方を確認する必要があると考えている。



整備が中断している八幡山グラウンド

ふるさと納税増額は



こい け はる お
小池 春雄 議員

A 職員の意見も踏まえ取り組みたい



Q ふるさと納税に対し、吉岡町の現状を見ると、全国 1724 市町村中、2024 年度で 1602 位、2025 年度が 1585 位。群馬県下 35 市町村では、下からいつも 5~6 番目で余りにも額が低い。全職員の英知を寄せれば、何か良い考えがあるのではないか。先進地事例に学び、担当職員を増やすなどして増額を図るべきだと思うが。

A 職員への意見募集は隨時行っていてさまざま意見が寄せられている。その中で、実現可能か、返礼品基準に当てはまるか検証し、職員の意見も踏まえ寄付金増額に取り組みたい。



返礼品の工夫などに期待

Q 取り組み方にも問題があったのではないか。県内では千代田町にビールの会社があり、草津町では温泉で宿泊券などあるが、大きなものがない町だからこそ、新たな産業を生み出すために、複数の専属の係・職員配置などあっても良いと思うが。

A これからも返礼品の工夫など、納税額増加を目指し研究していく。もう一步踏み込んで地域おこし、地域づくりの観点から、ふるさと納税の制度にとらわれず吉岡町に欠けている部分は職員の相談体制を強化するなど、いろいろな工夫を今後進めていきたい。

時代に即した子育て支援策は

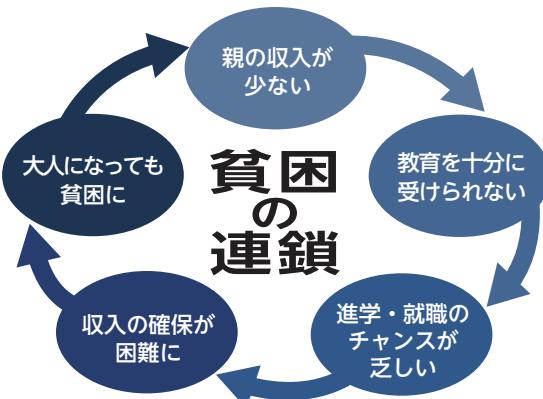
就学支援制度の周知を工夫

Q 物価は年々高騰し、賃金は物価に対して 30 年上がっておらず、特に子育て世代には厳しい状況となっている。7 人に 1 人が貧困といわれ、ひとり親家庭では 50% が貧困といわれている。時代に即した対応が求められているが、新年度予定している子育て支援策は。

A 新年度に向けた子育て支援として、新規の補助事業は予定していない。たびたび指摘を受けている就学支援制度の周知は、困難を抱えている家庭に、もれなく制度が適用になるよう工夫をこらしている。政府の公報でも、子どもの貧困に対して報道しており、子どもの貧困は社会全体の問題。豊かであるはずの日本で子どもの貧困が問題となっている。教育の機会均等、貧富の差なく全ての子どもがしっかりととした教育を受けられるよう取り組む。

Q 文科省の発表で、不登校・いじめが過去最高と報道されたが、町の現状と対策は。

A 昨年度の町内 3 校の不登校児童・生徒の割合は 2 %、重大ないじめは発生していない。心理・物理面にも配慮し学校生活が送れるような対応が重要と考えている。



子どもの貧困は社会全体の問題

町の子どもを取り巻く環境は



さかた かずひろ
坂田 一広 議員

A 充実した子育て環境の中で、育まれている

Q 第3期子ども・子育て支援事業計画が令和7年4月から実施されている。町の子どもを取り巻く現状についてどのように考えるか。

A 町の年少人口割合、年少人口指数ともに県内トップ。町では、保育園の保育料の無償化、保育施設の新增築、学童クラブの新增築などを実施し、保護者目線、子ども目線のそれぞれの視点に立った施策を展開。町の子どもたちは、充実した子育て環境の中で、育まれているものと認識している。



学童クラブ新增築など子育て環境充実へ

Q 第3期計画策定の際のアンケート調査では、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所、施設を増やしてほしい」との要望が多いが。

A 建設課で都市公園条例ということで整理を始めて、1つ1つの課題を拾いながら、複数部局にまたがって調整を進めている。

Q GIGAスクール構想の目的の1つに「個別最適な学び」が挙げられているが、学校で学習したことの理解が不十分な子ども、日常の学校での学習習慣がない、あるいは十分でない子どもの対応をどのように考えるか。

A とにかく一人一人に応じて最も適した学習を着実に進めていくこと。さらに、学校外で学習しない要因は何かを探り、個別に支援することに尽きると考える。

Q 子どもの貧困について、どう考えるか。

A 子どもの貧困は子どもたちの日常生活、学習

機会、将来の可能性に長期的な影響を与える課題であると認識している。

Q 児童虐待は、子どもの心身の健全な発達を阻害する深刻な問題であり、あってはならないことだと考えるが。

A 町での令和6年度新規相談受付件数は、28家族、45人。関係機関の協力関係の中で、子どもの安全を見守る環境を目指し努力を続けている。

「こども家庭センター」の設置は

令和8年度中を予定

Q 妊産婦や乳幼児の相談を受けるなど、母子保健を担う子育て世代包括支援センターと、虐待の相談や、支援を必要とする子育て家庭の相談を受ける、児童福祉の機能を併せ持つ「こども家庭センター」の設置は。

A 令和8年度中の設置に向け準備中。



令和8年度中の設置に向け準備中
(吉岡町保健センター)

Q 保護者の就労要件を問わず、月一定時間までの利用可能枠の中で、時間単位などで柔軟に利用できる「こども誰でも通園制度」が始まると。

A 町内6園全てで実施することを確認。令和8年4月から実施できるよう準備中。

議員研修会で学びました

群馬県町村議会議員研修会

11月5日に、玉村町文化センター大ホールで開催された、「令和7年度群馬県町村議会議員研修会」に参加しました。明治大学大学院教授の湯浅墾道氏による「地方議会のデジタル化の意義と課題」では、地方議会・自治体におけるデジタル化の最新動向の解説、生成系AIの活用、導入状況が紹介され、地方議会のデジタル化は単なる効率化ではなく、住民との信頼構築と説明責任を支える基盤整備であることを再認識しました。政治ジャーナリストの細川隆三氏による「時局展望」では、高市政権を軸に日本の政局の構造変化と外交・内政の課題が具体的に示され、連立再編や外交の舞台裏、安全保障・社会保障の財源問題など、今後の政権運営に直結する論点が整理され、政権の持続性は支持率だけでなく、成果の可視化と説明責任にかかっているとの認識ができました。



群馬県町村議会広報研究会

11月20日に、前橋市の群馬県市町村会館で開催された、「令和7年度群馬県町村議会広報研究会」に参加しました。講師に議会広報サポートの芳野政明氏を迎え、講演と広報誌クリニックの二部構成で行われました。前半の講演では、全国のコンクール上位入賞事例を取り上げ、広報誌は単なる「報告書」から「議会と住民をつなぐ対話のツール」へと進化させられるなどの解説がありました。後半の広報誌クリニックでは、希望のあった5町村の議会広報誌に対して、その特徴や長所の解説、注意点・改善点の指摘などが行われました。

講演とクリニックを通じて、改めて本誌の編集に関して、見直すべきところ、継続していくところが再確認できました。今後の広報委員会活動への参考としていきます。



北群馬郡町村議会議長会議員研修会

11月14日に、吉岡町文化センター視聴覚室で開催された、「北群馬郡町村議会議長会議員研修会」に参加しました。講師に弁護士の太田雅幸氏を迎え、セクハラ・パワハラ・マタハラなどの各種ハラスメントの基本的な理解を深めるとともに、地方議会における問題の特殊性と、その防止策としてのハラスメント防止条例の必要性について説明がありました。今回の研修を通じて、ハラスメントの防止が、地方議会に課せられた重要な責務であること、議員のハラスメント防止条例の制定は不可欠であることも理解できました。一方で、

安易にハラスメントの定義を広げれば、議員本来の行政に対する監視は正機能が萎縮する可能性なども十分考慮しなければならず、したがって、まずはハラスメント防止の理解を深める活動を優先し、その上で、監視は正機能の確保と公平な調査手続きの両立も考えあわせ、時間をかけて慎重かつ十分な検討を進める必要があると考えました。



お便りコーナー

クイズの回答とともに、多くのご意見・ご要望が寄せられました。

議会の皆さん、ご苦労さまです。町の魅力度を上げる為にも、若い人からの意見や座談会を開催してはいかがでしょうか？

大久保エリアに、子どもが遊べる公園が欲しいです。

渋川広域ごみ処分場断念という記事が新聞に載っていました。物価高で工事費が高騰したことことが断念の理由と記載されました。しかし、必要なものは計画的に順次施工していただきたいと思います。

議会広報誌は活字も大きくはっきりしていて、写真も上手に入っていて読みやすいと感じています。

群馬県は人口減少している中、吉岡町は人口が増えている良い町だと認識しております。吉岡町でタバコのポイ捨て禁止条例（アパート敷地内含む）などあれば嬉しいです。きれいな吉岡町、マナーのある吉岡町を推進していただけたら幸いです。

コロナ禍を契機として、全国の公立学校で導入が進んだ学習端末の更新に係る記事を、特に興味深く拝見しました。月日の流れの早さを感じるとともに、各自治体の財政負担が大きいという印象を持ちました。

子どもがいるので、子育てについての町の取り組み状況がわかると助かります。ぜひ給食の無償化を実現してほしいです。

物価高対策として全町民への給付金などを支援してほしいです。

ギカイだよりクイズ NO.150

- 問1 一般質問は何人が行ったでしょう。
A. 8人 B. 9人 C. 10人
- 問2 令和7年第4回定例会の会期は何日でしょうか。
A. 11日間 B. 12日間 C. 13日間
- 問3 150号特別企画アンケートの回答者は何人でしょうか。
A. 100人 B. 200人 C. 300人
- 問4 (任意) 皆さんの声を聴かせてください。
ご意見やご要望などをお寄せください。
「お便りコーナー」で紹介します。

応募方法

はがきに答える記号（例1-A）、住所、氏名、年齢、職業の記入または二次元コードから応募してください。
※個人情報は商品の発送のみに使用します。

応募先

〒370-3692
吉岡町大字下野田560番地 吉岡町議会事務局



▲応募はこちら

応募期限 3月1日消印有効

賞品 正解者の中から抽選で5人に、図書カード

1,000円分をプレゼントします。当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

前回の正解は1-C、2-C、3-Aでした。

皆さんの傍聴をお待ちしています

次の議会は3月上旬を予定しています。
会議は9時30分から始まります。
詳しい日程などは広報よしおか2月号に掲載されます。
また、町ホームページでもお知らせします。

編集後記

昭和63年11月10日に創刊号が発行され、今号で150号となりました。昭和から平成・令和、村から町へと時代が変わりましたが、記憶をたどればいつでも「あの時の吉岡」が鮮やかに思い出されます。時代が変わっても議会だよりの本質である情報発信、開かれた議会は不变であるとバックナンバーから読み取れました。いつまでも町民の皆様と歩み続ける議会だよりを目指して参りますので、応援よろしくお願い致します。（春山 和久）

議会広報常任委員会

委員長 小林 静弥
副委員長 山崎 守人
委員 宮内 正晴 秋山 光浩
 大井 俊一 藤多ゆかり
 春山 和久

発行 吉岡町議会
責任者 議長 富岡 大志
住所 群馬県北群馬郡吉岡町大字
 下野田560
TEL 0279-54-3111

見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用
しています。

